

海運の重要性を学校教育の場で  
～商船三井 自動車運搬船「FIRMAMENT ACE」の見学会を実施～

当協会は、学校教育において、わが国の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業を取り上げていただくよう、会員会社や関係団体と連携して教育関係者に対し、商船や海事施設等の見学会や授業への協力、資料提供等を実施しております。

今般、商船三井の協力を得て、5月29日（火）に愛知県名古屋市金城ふ頭において、自動車運搬船「FIRMAMENT ACE」（最大積載数 5200 台）の見学会を教育関係者を対象に開催しました。

当日は、同社 染矢一等航海士の案内のもと、最初に自動車が岸壁から船内に積み込まれる様子、その後船内では、その自動車が 10 cm幅で正確に積み付けられていく荷役風景を見学しました。また、自動車以外にもトラックや建設機械も積み込むことができ、その車高により天井の高さを変えることができるなどの構造も知ることができました。船内での積み付け作業を間近にした参加者からは、「運転技術の高さに圧倒された」「効率的な荷役の工夫が至る所に施されていた」と驚きの声が寄せられました。

また、船橋（ブリッジ）では航海計器や電子・紙海図等の説明を受けたほか、出港する他の自動車運搬船の様子も見ることができました。さらに、機関室（エンジンルーム）では巨大なメインエンジンや発電機、これらを制御する機器類を見学することができました。

普段見ることのできない船内・荷役の様子を見学する機会を得て、参加者からは「実際の現場を体感することで海運に対する理解を深めることができた」「幼い頃から、海運と生活が深い関わりを持っていることを教えたい」とのコメントがありました。

当協会は引き続き会員会社等と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

